



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月7日  
東

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所  
 コード番号 9723 URL https://www.kyotohotel.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 法弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 西川 治彦 (TEL) 075(211)5111  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,897	△1.5	503	△10.4	369	△14.6	214	△15.6
2019年3月期第3四半期	8,014	—	562	—	432	—	254	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	19.36	—
2019年3月期第3四半期	22.94	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,394	2,624	15.1
2019年3月期	17,729	2,442	13.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,624百万円 2019年3月期 2,442百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	3.00	3.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,232	△3.2	491	△12.8	245	△37.4	111	△36.3	10.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	11,091,400株	2019年3月期	11,091,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	201株	2019年3月期	56株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	11,091,243株	2019年3月期3Q	11,091,346株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間のわが国経済は、雇用環境や企業収益の改善が続き、緩やかな回復基調で推移しているものの、消費税率引き上げによる個人消費への影響で慎重さが増しております。また、通商問題を巡る貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題、中東や朝鮮半島における地政学的リスクの高まりなどで、先行きは不透明な状況が継続しております。

京都のホテル業界におきましては、インバウンド需要を背景とした訪日外国人観光客は一部を除き依然好調を維持しております。一方でホテルの建設・開業ラッシュがスピード感を増しており、宿泊部門では客室稼働率や室料単価の低下、宴会部門でも消費増税などの影響と思われる客単価や件数の減少傾向が散見しております。

このような状況の中、当社におきましては当事業年度を初年度とする第二次中期経営計画NEXT2022」がスタートしており、「収益基盤の充実ならびに財務体質の改善による磐石なサステナビリティを確立する」を計画目標に掲げ、顧客基盤の強化のためにグループホテルの会員獲得の増強や、好調であった宿泊部門の環境変化への対応として、宴会・レストランの営業強化など諸施策を実施してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,897百万円(前年同期比116百万円減)となりました。これは働き方改革への対応のため前期末に低採算のレストラン2店舗を閉店したことや、宴会受注の調整を行うことに起因するもので、売上総額は期初の予定通り進んでおります。また、収支においては減収要因に加え将来を見据えた積極的な採用活動や働き方見直し等により主に人件費が増加した結果、営業利益は503百万円(前年同期比58百万円減)、経常利益は369百万円(前年同期比63百万円減)、四半期純利益は214百万円(前年同期比39百万円減)となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

#### (宿泊部門)

京都ホテルオークラは、京都市内ホテルの新規オープンにより客室数が大幅に増加したことによる競争激化で、6月以降は個人を中心に予約の伸び悩み傾向が続いております。但し10月まではそれ以前に受注していた団体旅行の催行や、ラグビーワールドカップ需要もあり、売上高は前年同期比45百万円増となっております。

からすま京都ホテルでは、客室単価は前期並を確保いたしましたでしたが、競争激化により旅行会社からの予約が減少した事で、売上高は前年同期比32百万円減となりました。

この結果、宿泊部門全体の売上高は2,977百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

#### (宴会部門)

京都ホテルオークラの一般宴会は大型案件や会議利用の増加により堅調を維持しておりますが、婚礼宴会は、件数が大幅に減少するなど厳しい状況が続き、また働き方見直しに伴う労働時間の抑制などもあり、売上高では前年同期比99百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、一般宴会が順調に受注でき、売上高は前年同期比10百万円増となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は2,434百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

#### (レストラン部門)

京都ホテルオークラでは、利用客の減少や働き方見直しによる営業時間短縮等の影響により「粟田山荘」、京料理「入舟」で売上が減少いたしました。一方、中国料理「桃李」などが順調だったことに加え、前期末に閉店した「ベルカント」と「チャイナテラス桃李」はスカイレストラン「ピトレスク」やカフェ「レックコート」がその受け皿となったことにより、売上高は前年同期比85百万円減に留まりました。

からすま京都ホテルでは、中国料理「桃李」、和食「入舟」が個室利用を中心に順調だったことなどにより、売上高は前年同期比17百万円増となりました。

この結果、レストラン部門全体の売上高は2,079百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

## (その他部門)

その他部門の売上高は405百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

当事業年度より始めました分譲マンションのコンシェルジュサービス業務により、売上が増加しております。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第3四半期累計期間 (自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	2,977,776	37.7	0.4
宴会部門	2,434,207	30.8	△3.5
レストラン部門	2,079,894	26.3	△3.2
その他部門	405,768	5.2	7.0
合計	7,897,648	100.0	△1.5

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ334百万円減少し、17,394百万円となりました。

負債につきましては、前事業年度末に比べ516百万円減少し、14,769百万円となりました。また、純資産は前事業年度末に比べ181百万円増加し、2,624百万円となり、自己資本比率は15.1%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表しました予想値を達成可能とみていることから、修正は行っておりません。今後の経済状況や旅行者等の動向情報を収集した上で、業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,292,267	1,398,698
売掛金	540,464	484,189
原材料及び貯蔵品	60,464	101,104
前払費用	39,138	25,183
その他	18,969	22,471
貸倒引当金	△99	△113
流動資産合計	1,951,206	2,031,534
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	9,919,896	9,537,918
構築物(純額)	34,667	28,576
機械装置及び運搬具(純額)	65,216	155,650
器具及び備品(純額)	273,301	271,827
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産(純額)	113,350	88,703
有形固定資産合計	15,477,773	15,154,018
無形固定資産		
ソフトウェア	9,950	9,040
リース資産	116,823	89,761
電話加入権	4,429	4,429
商標権	254	216
無形固定資産合計	131,457	103,447
投資その他の資産		
投資有価証券	10,300	10,300
長期前払費用	4,310	1,624
前払年金費用	932	1,108
差入保証金	54,315	54,492
繰延税金資産	87,725	26,580
その他	11,030	11,030
投資その他の資産合計	168,613	105,135
固定資産合計	15,777,844	15,362,602
資産合計	17,729,050	17,394,136

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	196,546	233,066
1年内返済予定の長期借入金	624,000	558,500
リース債務	113,326	110,079
未払金	825,867	623,321
未払費用	91,799	163,159
未払法人税等	83,589	30,413
前受金	77,985	64,513
預り金	53,860	80,490
前受収益	40,483	57,295
賞与引当金	77,010	-
その他	22,331	22,062
流動負債合計	2,206,798	1,942,903
固定負債		
長期借入金	11,508,000	11,234,000
リース債務	316,423	264,665
長期未払金	418,759	477,096
長期預り保証金	836,259	851,333
固定負債合計	13,079,441	12,827,094
負債合計	15,286,239	14,769,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,268,924	1,268,924
資本剰余金		
資本準備金	450,229	450,229
その他資本剰余金	80,265	80,265
資本剰余金合計	530,494	530,494
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	643,434	824,870
利益剰余金合計	643,434	824,870
自己株式	△43	△152
株主資本合計	2,442,810	2,624,137
純資産合計	2,442,810	2,624,137
負債純資産合計	17,729,050	17,394,136

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
<b>売上高</b>		
室料売上	2,874,492	2,912,157
料理売上	2,814,166	2,726,010
飲料売上	588,168	578,611
雑貨売上	407,497	393,355
その他売上	1,329,920	1,287,513
売上高合計	8,014,245	7,897,648
<b>売上原価</b>		
料理原料	836,098	810,254
飲料原料	126,223	126,483
雑貨原価	319,271	306,894
その他原価	206,077	173,467
原価合計	1,487,670	1,417,099
売上総利益	6,526,574	6,480,548
販売費及び一般管理費	5,964,460	5,976,919
営業利益	562,114	503,628
<b>営業外収益</b>		
補助金収入	348	941
受取精算金	4,992	-
受取手数料	3,286	2,652
基地局設置手数料	1,478	1,948
受取保険金	2,926	1,375
その他	3,994	2,643
営業外収益合計	17,027	9,562
<b>営業外費用</b>		
支払利息	145,623	139,437
支払手数料	750	750
その他	348	3,717
営業外費用合計	146,722	143,905
経常利益	432,420	369,285
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	59,516	49,683
その他	3,360	-
特別損失合計	62,876	49,683
税引前四半期純利益	369,544	319,602
法人税、住民税及び事業税	47,503	43,748
法人税等調整額	67,654	61,144
法人税等合計	115,158	104,892
四半期純利益	254,385	214,709

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。